



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社サンワカンパニー

コード番号 3187 URL <http://www.sanwacompany.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 亙

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 平井 靖人

TEL 06-6229-1033

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	3,574	—	333	—	329	—	202	—
25年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 198百万円 (—%) 25年9月期第2四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年9月期第2四半期	12.99	11.57
25年9月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成25年9月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年9月期第1四半期の記載及び同期間との比較は行っておりません。

当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり四半期純利益の金額は、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年9月期第2四半期	3,951	1,407	35.6	89.10
25年9月期	3,405	1,167	34.3	78.32

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 1,407百万円 25年9月期 1,167百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり純資産の金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年9月期	—	0.00	0.00	10.00	10.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成26年9月期における期末の配当予想につきましては、株式分割後の数値を記載しております。

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	6,655	25.1	485	43.1	468	58.2	296	38.4	18.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年9月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益の予想値につきましては、平成26年4月1日に行った株式分割が平成26年9月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	15,795,000 株	25年9月期	14,913,000 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	— 株	25年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	15,576,220 株	25年9月期2Q	12,000,000 株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続き政府の経済政策を期待し回復基調で進みましたが、海外情勢不安と株価・為替の軟調な推移及び消費税率引き上げ等の要因により、消費低迷の懸念を抱えた流動的な状態となっております。

不動産・住宅業界においては、都市部を中心に地価が上昇傾向にあるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減という懸念材料の影響が不安視されております。しかしながら、平成26年度税制改正では、中古住宅流通・リフォーム市場の拡大・活性化のための特例措置が創設される等、今後の住宅市場の活性化が期待されております。

このような状況の中、当社グループ（当社、連結子会社）は引き続き顧客数の増加を図るための施策を重点的に実施することで、事業規模の拡大を図りました。一例として、幅広い層のお客様に利用して頂くことを狙い、当社ECサイトのスマートフォン対応化を行いました。また、VOL.21新カタログを発行し、オリジナリティのある当社商品の適及を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,574百万円、営業利益333百万円、経常利益329百万円、四半期純利益202百万円となりました。

なお、当社グループは建築資材のインターネット通信販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ545百万円増加し、3,951百万円となりました。その主な要因は、売掛金の増加194百万円、現金及び預金の増加157百万円、商品の増加79百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ306百万円増加し、2,544百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の減少189百万円があったものの、買掛金の増加272百万円、前受金の増加160百万円、未払法人税等の増加75百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ239百万円増加し、1,407百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加172百万円、資本金の増加35百万円、資本剰余金の増加35百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して157百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には1,644百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は470百万円となりました。これは主に当第2四半期連結累計期間において税金等調整前四半期純利益337百万円を計上したことによるもの、売上債権の増加194百万円を計上したものの、仕入債務の増加272百万円、前受金の増加160百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は48百万円となりました。これは主に差入保証金の差入による支出44百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は263百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出215百万円、社債の償還による支出89百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月14日の「平成25年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,512,426	1,670,281
売掛金	292,229	486,384
商品	749,891	829,473
貯蔵品	2,552	39,374
繰延税金資産	27,231	32,782
その他	66,142	116,303
流動資産合計	2,650,473	3,174,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	416,679	388,312
土地	122,149	122,149
その他（純額）	39,981	43,678
有形固定資産合計	578,811	554,141
無形固定資産	49,154	48,515
投資その他の資産		
繰延税金資産	11,964	14,806
その他	115,437	159,510
投資その他の資産合計	127,401	174,316
固定資産合計	755,367	776,974
資産合計	3,405,840	3,951,574
負債の部		
流動負債		
買掛金	212,268	484,636
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	316,331	290,136
1年内償還予定の社債	159,000	139,000
未払金	50,906	115,413
未払法人税等	68,234	143,575
前受金	191,415	352,366
賞与引当金	18,387	28,563
その他	28,378	56,133
流動負債合計	1,074,921	1,639,825

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
固定負債		
社債	258,500	189,000
長期借入金	825,596	636,428
繰延税金負債	242	63
資産除去債務	78,658	78,971
固定負債合計	1,162,996	904,463
負債合計	2,237,918	2,544,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,707	381,877
資本剰余金	296,707	331,877
利益剰余金	528,775	701,239
株主資本合計	1,172,191	1,414,995
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,269	△7,709
その他の包括利益累計額合計	△4,269	△7,709
純資産合計	1,167,922	1,407,285
負債純資産合計	3,405,840	3,951,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	3,574,585
売上原価	2,378,839
売上総利益	1,195,745
販売費及び一般管理費	862,535
営業利益	333,210
営業外収益	
受取利息	145
為替差益	3,831
その他	1,471
営業外収益合計	5,448
営業外費用	
支払利息	7,471
支払手数料	1,863
営業外費用合計	9,335
経常利益	329,323
特別利益	
保険解約返戻金	8,231
特別利益合計	8,231
特別損失	
固定資産売却損	109
固定資産除却損	162
特別損失合計	271
税金等調整前四半期純利益	337,284
法人税、住民税及び事業税	143,575
法人税等調整額	△8,581
法人税等合計	134,994
少数株主損益調整前四半期純利益	202,289
四半期純利益	202,289

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	202,289
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△3,440
その他の包括利益合計	△3,440
四半期包括利益	198,849
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	198,849
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成25年10月1日
至平成26年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	337,284
減価償却費	46,285
賞与引当金の増減額（△は減少）	10,176
受取利息及び受取配当金	△145
支払利息	7,471
為替差損益（△は益）	△3,831
固定資産売却損益（△は益）	109
固定資産除却損	162
売上債権の増減額（△は増加）	△194,155
たな卸資産の増減額（△は増加）	△116,403
仕入債務の増減額（△は減少）	272,429
前受金の増減額（△は減少）	160,950
未払金の増減額（△は減少）	59,020
その他	△37,385
小計	541,968
利息及び配当金の受取額	145
利息の支払額	△7,146
法人税等の支払額	△64,467
営業活動によるキャッシュ・フロー	470,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△10,034
有形固定資産の売却による収入	159
無形固定資産の取得による支出	△5,143
差入保証金の差入による支出	△44,233
差入保証金の回収による収入	160
保険積立金の解約による収入	10,504
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,586
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△215,363
社債の償還による支出	△89,500
株式の発行による収入	70,340
配当金の支払額	△29,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	△263,967
現金及び現金同等物に係る換算差額	△92
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	157,854
現金及び現金同等物の期首残高	1,486,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,644,183

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。